

# ドクトル伊田の 緑内障の最新事情



は、口ほどに...  
No. 43

緑内障（正しくは緑内障性視神経症）は、眼球内の視神経が経年変化で傷んで、衰えていく疾患です。単なる加齢でも視神経は徐々に減りますが、緑内障になると視神経がどんどん減っていきます。

視神経の神経線維は、大脳皮質を中継し眼球にやってきます。眼内に達した神経線維は、周囲に放散して網膜に入り、網膜の神経線維層に分布します。細かく分かれた神経線維は、神経節細胞とそのネットワークとなる軸索という視神経の最小単位になります。緑内障では神経節細胞

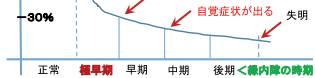
や軸索が次々やられて、数が減った視神経は網膜の情報をお脳にうまく伝えられません。何故そのように減るのか真の理由は分かっていませんが、眼圧や眼血流が影響していることは確かです。緑内障の治療は、ものが見にくい自覚があり、それに対応する視野異常を検出してから始まるのですが、視野検査で異常があれば、すでに神経節細胞は70%が失われています。進行する緑内障の早期、中期、後期という分類は、視野検査の結果で分

最近、検査精度が高まり、もっと早い時期から緑内障を治療するという考え方が出てきました。自覚症状がなく、通常の視野検査でも異常がないのに視神経が減り始める時期で、極早期緑内障と呼びます。極早期緑内障では神経節細胞が急速に減っていくので、全身状態を含めた各種検査の結果を考慮して、治療を開始するか決めます。治療開始にあたっては、自分の緑内障と向き合って、診察医とよく話し合うことが必要です。

単位になります。緑内障では神経節細胞

けたものです。

神経節細胞の数



野検査の結果で分けたものです。

（院長・伊田 宜史）

## 伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30	○	○	○	○	○	○	△
12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30	○	手術	○	○	○	○	△
18:30	○	○	○	○	○	○	△

【休診日】木・土曜午後  
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

